

学習や生活に関する改善プラン

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です。

本校は、全国学力・学習状況調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。
なお、さらに詳細な結果について、調査対象の学年に配付することとしています。

【全国学力・学習状況調査結果の概要】

成果

令和3年度実施の全国学力・学習状況調査の算数では、「複数の図形を組み合わせた図形の面積について量の保存性や量の加法性を基に捉え、比べること」また、「三角形や平行四辺形などの図形を構成する要素に着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述できる」等で全国平均を大きく上回る正解率でした。また、児童質問紙による調査では、「算数の授業で公式や決まりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか」「解き方や考え方が分かるようにノートにまとめていますか」等の質問で、肯定的な回答をした児童が、全国平均と比較して高い水準にあることが分かりました。本校では、2019年度から、自ら学び続ける児童の育成～「考えたい」「話し合いたい」「わかった」を大切にした算数科の授業づくり～を研究テーマに設定し算数の授業づくりに取り組んでいます。それらの活動に取り組んできた結果が、成果につながったものと考えています。

課題と対応

国語では、話したり聞いたり読んだりする学習内容に比べ「自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考える」や「目的や意図に応じて、理由を明確にしながら自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」等の各内容で正答率が低く、課題が見られました。そこで、国語のみならず他教科でも自分の考えを文章に書く活動を学習の中に取り入れ、児童が目的に応じて文の構成を工夫し、自分の考えを書く活動を重ねることができるようになりたいと考えています。また、児童質問紙の結果から、国語、算数共に解答時間が十分ではなかったと答えている児童の割合が高いため、時間配分を考えながら課題に取り組む経験を重ねる必要があることが分かりました。

家庭での学習時間は、全国平均と比べ十分に取れている児童と、取れていない児童に二極化する傾向にあることが分かってきました。「家庭学習がんばり表」等を有効に使用し、望ましい生活習慣の構築に努めていきたいと考えています。

【保護者・学区の方へのお願い】

児童質問紙の結果から、子どもたちがきちんと守ることができるように話し合い、ゲームやスマートフォンの使用方法の約束を決めたり、過度な使用にならないように時間を管理したりするなどしながら、好ましい生活習慣を築いてくださっていることが分かりました。子どもたちがいきいきと学校生活を送る力につながっていることを、学校としてうれしく感じています。一方で、家庭学習の時間は、全国平均と比べて低くなっている傾向です。学校と家庭とで連携しながら子どもたちのよりよい学習習慣を築くことができるようにしていきたいと考えておりますので、今後ともご協力をお願いいたします。

令和3年度学習や生活に関する改善プラン（岡山市学力アセス）

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です

本校は、岡山市学力アセスの調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

【岡山市学力アセスの調査結果から】

成果

	教科・質問紙	成果
第4学年	国語	文章の内容を正しく読み取っている。
	社会	工場での大型機械を使用する利点の理解をもとに、資料を読み取っている。
	算数	道のりを様々な単位を使って表すことができる。
	理科	ゴムを伸ばした長さや得点の関係を表した表を見て、決められた距離を走らせるゴムの伸びを考えることができる。
	学習状況	自分の考えを発表する機会が与えられていると回答した児童の割合が高い。
第5学年	国語	第4学年配当漢字を正しく書いている。
	社会	岡山県の伝統や文化について理解している。
	算数	数量の関係を式にできる。
	理科	水のしみこみ方は土の粒の大きさによることを実験の結果から推測することができる。
	学習状況	読書は好きであると回答した児童の割合が高い。

課題とその対応

	教科・質問紙	課題	対応
第4学年	国語	配当漢字を正しく読んだり書いたりすることに課題がある。	今後の授業を通しての改善策としては、漢字・計算などの基礎的な学力を向上させる取組を充実させるとともに、地図や写真などの資料から適切に情報を読み取ったり、それを活用したりして考えを深めていくような場面を意図的に設定したい。 学習状況については、家庭学習に取り組む時間の目安を示した手引きを作成しているが、各自の学習状況に応じた家庭学習の内容について、子どもの意欲が継続するような内容になっているか見直しを進めていきたい。
	社会	地図や図などから情報を読み取ることに課題がある。	
	算数	基本的な四則計算に課題がある。	
	理科	台ばかりから正しく目盛りを読みとることに課題がある。	
	学習状況	学校の授業時間以外に、家庭学習に費やす時間が短い傾向がみられる。	
第5学年	国語	文の構成や修飾語・被修飾語の関係を理解することに課題がある。	特定の教科に限らず、既習知識を確かめる場面と、知識と経験を結び付けて考えを広げたり、深めたりするような場면을授業の中でバランスよく取り入れたい。 学習状況については、ゲームなどに接する時間が長いことに課題がある。これまで取り組んでいる「すこやか週間」の取組が子ども自身にとって「やってよかった」「効果があつた」と実感できる振り返りができるようにしていきたい。
	社会	岡山県の様子を理解に課題がある。	
	算数	長さ・変わり方・割合に課題がある。	
	理科	知識と経験を結び付けて説明することに課題がある。	
	学習状況	普段、1日あたりゲームやインターネットを使う時間が長い状況がみられる。	

【保護者・学区の方へのお願い】

宿題についての声かけは積極的にしていただいておりますが、宿題以外を進んで行うなど学習の啓発についてはさらなる改善が必要な状況です。学校で自主学習への取り組み方の例を示したり、児童の良い取組を通信で紹介するなどしたりして、家庭と連携を図る工夫をしていきたいと思っております。また、メディアとの付き合い方についても保護者と学校とが足並みをそろえて考えていけるようにしていきたいです。